

第3次島田市健康増進計画 施策評価シート

資料2

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R2 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値	
1. 生活習慣病の発症予防・重症化予防	特定健康診査の実施	個別健診や集団健診をがん検診と同時に実施する。 人間ドック費用の助成を行う。 特定健診受診料を無料化する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定健康診査)(その他)	島田市医師会、榛原医師会、聖隷予防健診センターに委託して実施。R1年度から特定健診の自己負担を無料化した。	対象者数:16,957人 受診者数:5,995人 受診率:35.4%(R3.3末暫定値) ※R1年度法定報告数値:41.6%	特定健診受診率:60.0%	
	特定保健指導(個別)の実施	指導を受けやすい時間や曜日に個別面談を実施する。 必要に応じて訪問指導を行う。 未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	健診の結果、積極的支援、動機付け支援に該当した対象者に対し、保健指導を実施。	対象者数:667人 初回面接実施数:734人 利用率:90.7%(R3.3末暫定値) ※R1年度法定報告数値:90.3%	特定保健指導実施率:88.5%	
	保健指導(個別)の実施	特定保健指導対象者以外で、血糖、血圧、血糖、脂質などの検査項目で生活習慣病の重症化リスクの高い対象者に、電話や個別面談、訪問指導を実施する。 未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(※1ヘルスアップ事業)	検査結果が基準値から逸脱し、重症化するリスク(検査数値が要医療の判定)がある者に対し、電話や訪問等による保健指導、受診勧奨を行う。さらに特に重症化のリスクが高い者に対しては受診勧奨のフォローアップを行う。	保健指導実施者数:398人、うち特に重症化リスクの高い者(リスクレベル1)167人	継続	
	生活習慣改善指導・健康教育(集団)の実施	特定保健指導対象者や糖尿病性腎症の方に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	特定保健指導対象者や糖尿病の方を対象に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施。	17回、延べ229人	継続	
	特定健康診査の受診啓発	特定健康診査の受診啓発を行う	受診率の向上のため、医師会、薬剤師会、地区組織(保健委員、自治会等)、国保連や県、協会健保等と協力して特定健康診査PR活動を行う。	健康づくり課	保健委員協議会	診率の向上のため、保健委員等と協力して特定健康診査PR活動を行う。	保健委員研修で普及啓発を実施11回延べ88人 地区ごとに保健委員だよりを作成し、回覧等で地域への普及啓発を実施	継続
			健診を委託する医療機関を対象に健診事業説明会を実施。あわせて各医療機関に協力依頼のため、訪問を実施。国保連と協働で商業施設等にてPR活動。健康アンバサダー養成講座や市民の集まる場にて健診のPRを実施。健康講演会の実施。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	健診を委託する医療機関を対象に健診事業説明会を実施。あわせて各医療機関に協力依頼のため、訪問を実施。国保連と協働で商業施設等にてPR活動。健康アンバサダー養成講座や市民の集まる場にて健診のPRを実施。健康講演会の実施。	医院訪問:23件、アピタでのPR活動:1回、200人、約530人、世界糖尿病デー啓発イベント:1回、約50人	継続
	特定健康診査未受診者勧奨	国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨する。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	出前講座や依頼のあった団体に対し、生活習慣病等について講話を行う。	健康アンバサダー養成講座における講話1回	継続	
				国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施。	AIによる受診勧奨事業(委託):11,210人、日曜健診(6/14と1/14実施):241人	継続		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R2 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値
1-(2)(3) 循環器疾患・ 糖尿病	保健指導（個別）の 実施（再掲）	生活保護受給者健康管理支援事業において、生活習慣病の発症・重症化予防の指導を実施する。	福祉課	生活保護被保護者健康管理支援事業	・特定健診の受診勧奨と食事指導、生活指導など	特定健診受診率25.2% 指導人数 60人	未定
	受診しやすい健 （検）診体制の整備	医師会や健（検）診委託機関等と連携を図り、土日曜日の健診実施やがん検診との同時実施など、対象者が健診を受診しやすい体制づくりに努める。	健康づくり 課	がん検診事業	協会けんぽの特定健診と市の総合がん検診の同日実施	総合がん開催日数：75日（うち同日開催日：67日） 受診者数：8,227人	同日開催日数：69日 受診者数：8,760人
			健康づくり 課	がん検診事業	土日曜日の総合がん検診の実施	開催回数：12日 受診者数：1,490人	開催回数：13日 受診者数：1,560人
			国保年金課	国民健康保険 保健事業（特定健康診査）	健診を受診しやすい体制として、土・日曜日の日程を設定し、がん検診との同時受診を実施している。	69回（うち土・日曜日実施：12回）	継続
	健康づくりを啓発する 役割を担う市民の養成	地域へ健康づくりを啓発する役割を担う市民を養成し、啓発活動を支援していく。	健康づくり 課	※2 健幸マイレージ推進事業	市民の「健幸」を達成することを目的とし、必要かつ正確な情報を、健康無関心層を含めた多くの住民に、心に届く情報として伝えていく「健幸アンバサダー」を養成する。	健康アンバサダー登録者数：351名	健康アンバサダー登録者数：800名
	島田市の糖尿病性腎 症重症化予防施策の 推進	島田市糖尿病性腎症重症化予防推進委員会、糖尿病性腎症重症化予防セミナーを開催する。糖尿病性腎症の早期発見と保健指導、糖尿病性腎症重症化予防プログラム、糖尿病の治療戦略を考える会を実施する。CKD*病診連携体制*を構築する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業（ヘルスアップ事業）	データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する。	島田市糖尿病性腎症重症化予防推進委員会：2回、糖尿病性腎症重症化予防セミナー：3回×2クール 延べ参加者数 104人、糖尿病性腎症重症化予防プログラム参加者：15人、CKD病診連携：3人	糖尿病2～3期の人のうち、プログラム参加率30%
			国保年金課	国民健康保険 保健事業（ヘルスアップ事業）	島田市独自の糖尿病に関するチラシを作成し、結果説明会等で配布する。	約1200人（特定保健指導、尿中アルブミン検査実施者）	継続

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R2 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値	
2 生活習慣の改善	2-1) 栄養・食生活	小学生・中学生への適切な栄養摂取についての啓発	小学生・中学生に対して適切な栄養摂取についての啓発を行う。	学校教育課	適切な栄養摂取の啓発	授業の充実・栄養教諭を派遣した食育授業	209時間 (新型コロナウイルスによる休校のため減)	320時間
		生活習慣病予防や改善のための指導・助言の実施	食生活に不安のある方や特定健康診査の要指導者に、生活習慣病改善のための相談や食事指導を行う。	健康づくり課	栄養改善等相談事業 訪問栄養指導事業 母子栄養改善事業	栄養・食生活習慣の改善を指導助言し、生活習慣病予防につなげる	食生活相談8回171人 健康の日健康相談6回70人 訪問栄養指導29回34人 妊産婦栄養相談27人	食生活相談72回164人 健康の日健康相談6回87人 訪問栄養指導12回14人 妊産婦栄養相談36人
		「具だくさん島田汁」の啓発	各種イベントや栄養実習を取り入れた健康教育で、「具だくさん島田汁」を普及する。	健康づくり課	食育講座事業 食育普及啓発事業	「具だくさん島田汁」を媒体として食育普及啓発を図る	金谷高校食育講座2回64人 島田高校1回21人 フレッシュパパマ教室4回126人 大津児童クラブ食育教室3回65人 健康づくりセミナー1回20人 高齢者食育料理教室1回17人 親子料理教室【中止】	金谷高校食育講座2回64人 島田高校1回21人 フレッシュパパマ教室4回126人 大津児童クラブ食育教室3回65人 健康づくりセミナー1回20人 高齢者食育料理教室1回17人 親子料理教室1回25人
		様々な媒体を活用した食の重要性の啓発	様々な媒体や、機会を活用し、適切な栄養・食生活についての普及啓発を行う。	健康づくり課	健康教育事業 栄養・食育普及啓発事業	栄養・食育をはじめ食生活習慣の改善を指導助言し、生活習慣病予防につなげる	FMIまだ2回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育65回1160人	FMIまだ12回 広報しまだ献立掲載12回 健康教育95回1806人 「食育の日」「食育月間」普及啓発事業(食育ブックカバー制作)2回1200枚制作
		関係機関との連携	幼少期からの適切な食習慣の習得を目指すため、保育園、幼稚園、こども園、小・中学校、その他関係機関との協働・	健康づくり課	島田市食育推進委員会 小中学校食育推進委員会	食育推進計画に基づき食に関係する組織団体が連携し、食育を推進する	島田市食育推進委員会2回(第2回は書面会議) 小中学校食育推進委員1回	島田市食育推進委員会2回 小中学校食育推進委員2回
				保育支援課	園便り・給食だより	管理栄養士の作成する給食だよりを通じて、食に関する内容や情報を提供する。	公立保育園2園×12回	公立保育園2園×12回
				学校教育課	保幼小合同研修会	児童の食生活等について、情報を引き継ぐ等の連携を図る	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより1回減)	年2回 開催
		日本型食生活の啓発	栄養バランスのとれた日本型食生活の良さを啓発し、推進する。	健康づくり課	食育講座、健康教育事業	栄養・食育講座、健康教育等で栄養バランスのとれた日本型食生活を啓発する	食育講座51回663人 健康教育65回1160人	食育講座75回639人 健康教育95回1806人
食育講座・料理教室の開催	食事バランスガイドを活用した健康教室を開催する。	健康づくり課	各種食育講座	食事バランスガイドを活用し、生活習慣病予防の食生活を啓発する。	実施箇所数 86箇所 支援回数 72回	食育講座75回639人 健康教育95回1806人		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R2 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値	
2 生活習慣の改善	2-(2) 運動・身体活動	各種スポーツ教室の開催	気軽に運動に取り組むことができるよう、運動の機会を提供していくとともに、保健委員やスポーツ推進委員などの活動を支援する。	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	運動室開放A・B	開催回数 144回 実利用者数 85人	運動室開放A・B 原則週2日
				スポーツ振興課	①ジュニアスポーツクラブ事業 ②ニュースポーツ普及活動事業	①小学生対象スポーツ教室の実施(バレー・バスケ・陸上・テニス・水泳) ②ニュースポーツ教室の開催	実施回数:141回 実利用者数:53人	①開催数100回(5種目×20回)、 参加者200人(5種目×40人) ②参加者 1,350人
		市民健康ウォークの開催と仲間づくりの推進	地域や職域と連携して、歩数や身体活動量の増加に向けた啓発や講座を行う。	健康づくり課	健康ウォーク	島田5000歩会に委託し、年8回ウォーキングを実施する。	新型コロナウイルス拡大により3回のみ実施。内1回は健康づくり課との共催で実施。	健康づくり課主催のウォーキングを年1回実施
		運動教室や運動グループなどの情報の周知	運動の継続を図るため、既存の運動教室などの情報を集約し、周知を図る。	スポーツ振興課	ニュースポーツ普及活動事業	ニュースポーツ教室情報を広報誌等で発信	広報しまだ掲載月1回 ライン公式アカウント配信年12回 ホームページへのチラシ掲載年1回 公民館等へのチラシ配布年1回 啓発用ポケットティッシュ配布300個	広報しまだ・ライン公式アカウントに教室情報を月1回発信
	3-(2) 次世代の健康	小中学校・高校における保健学習と指導の充実	市内の小中学生・高校生を対象に、健康なところと身体づくりについて啓発していく。	学校教育課	保健学習の充実	身体測定の実施 保健授業の実施	年2回以上の身体測定の実施	年2回以上の身体測定の実施
		適正体重の管理(やせ予防)のための食生活の支援	適正体重の管理(やせ予防)についてなど、適切な食生活に関する講話を実施する。	健康づくり課	保健学習の実施	保健学習の実施	金谷高校3回 島田高校2回	実施
母子健康手帳交付時の保健指導の実施		妊娠中の適切な生活習慣(食習慣や体重管理など)について情報提供と保健指導を行う。	健康づくり課	母子手帳交付	母子手帳交付時にアンケート実施し、必要に応じて助言、指導を実施	母子手帳交付数 594件(100%)	母子手帳交付面談100%	
4 地域の場の力の活用(ソーシャル・キャピタル)を活用した健康づくり	4-(2) 健康を支援する環境づくり	住民同士の健康づくり活動の推進	地域のつながりを基盤とした住民同士の健康づくり活動の推進を図るため、健康づくりを実践する地域団体の紹介と加入促進を支援する。また、地域で活動する保健委員や食生活推進員、健康づくりボランティアの育成や活動支援も行う。	健康づくり課	保健委員協議会 健康づくり食生活推進協議会	健康に関する情報の発信	実施	継続
		健幸*情報を伝え、拡散する市民スタッフ(健幸アンバサダー)の養成と活動支援	市民の「健幸」を達成することを目的とし、必要かつ正確な情報を、健康無関心層を含めた多くの住民に、心に届く情報として伝えていく「健幸アンバサダー」を養成する。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	10月と1月の計2回、外部から講師を招き、健幸アンバサダー養成講座を実施した。	健康アンバサダー登録者数:351名	健康アンバサダー登録者数:800名
		健幸マイレージ協賛店の加入の推進	健幸マイレージ協賛店やおいしくヘルシー応援店を増加させ、健康づくりに取り組みやすい環境を整備する。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	未登録の店舗に対し、ふじのくに健康いきいきカード協賛店及びおいしくヘルシー応援店への新規登録について協力依頼を行った。	市内協力店:62店舗	市内協力店:100店舗

計画の基本方針		具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R2 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値
4 地域の 場 の 力 (ソーシャル・ キャピタル)を 活用した健康 づくり	4-(2) 健康を 支援する環境 づくり	健康経営に取り組む 企業への支援と連携	企業の健康経営を応援することを目的とし、健幸マイレージの活用や健幸アンバサダーの登録などを推進する。併せて、市内各事業所の健康課題対策や健康づくり活動に協力する。	健康づくり 課	健幸マイレージ推進 事業	事業所における健康課題対策や健康づくりへの協力の一環として、会社ぐるみで健幸マイレージ事業に参加してもらい、従業員達の健幸への関心を高めていく。事業所には、市のイベントへの積極的参加や抽選特典賞品の提供等について協力を依頼する。	連携事業所数:1	連携事業所数:5

※ 1 国保ヘルスアップ事業

国保ヘルスアップ事業は、国保の被保険者に対する健康増進事業で、糖尿病性腎症重症化予防事業、特定健診等の受診勧奨事業、35～39歳を対象とした若年層健診事業などがありますが、ここでは特定保健指導外の生活習慣病重症化予防事業について事業評価をしています。